

館林市

子育て支援ニーズ調査ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、次代を担う子どもの健やかな成長と子育てを支える地域社会の形成をめざし、「館林市次世代育成支援行動計画（後期計画）」に基づき、さまざまな子育て支援に関する取り組みを進めています。

このたび、この計画の期間満了に伴い、新しい子ども・子育て支援制度に基づく「館林市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなり、市民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、ニーズ調査を実施することといたしました。

このニーズ調査は、住民基本台帳の中から小学1年生から3年生までのお子さんを無作為に選び、その保護者を対象にお願いするものです。ご回答いただいた内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただくもので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成26年1月

館林市長 安楽岡 一雄

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒の宛名のお子さんについて、お答えください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートに回答される方を表します。
3. 回答は、当てはまる回答の数字に○印をつけていただく場合と、数字を記入する場合があります。また、設問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. ご記入いただいたアンケートは、**平成26年1月20日(月)**までに、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は必要ありません。

調査に関するご質問、ご意見は…

館林市保健福祉部 こども福祉課 子育て支援係
電話：0276-72-4111（内線631）
Eメール：kodomo@city.tatebayashi.gunma.jp

までお問い合わせください。



ぼんちゃん

子ども・子育て支援新制度とは？

平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が可決・成立し、同月に公布されました。

この関連3法は、一人ひとりの子どもの健やかな成長のために、適切な環境が等しく確保されるよう、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的とし、制度、財源を一元化して新しい仕組みを構築し、子どもの幼児期の学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援を総合的に推進していくとするものです。

子ども・子育て支援の意義=子どもの視点に立った、子どもが健やかに成長することができる社会の実現



この子ども・子育て支援の意義に基づき、子育ての第一義的責任は父母その他の保護者であり、家庭が教育の原点であるという前提のもと、保護者が、子育てについての責任を果たせるよう、課題解決に向けた取り組みを進めます。

- 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
- 待機児童解消に向けた保育の量的拡大・確保及び子どもが減少傾向にある地域の保育支援
- 地域の子育ての一層の充実

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの町名をご記入ください。

館林市	<input type="text"/>	町
-----	----------------------	---

宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月を□内に数字でご記入ください。

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問3 宛名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、お2人以上いらっしゃる場合は、末子の方の生年月を□内に数字でご記入ください。

きょうだい数	<input type="text"/>	人	末子の生年月	平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月生まれ
--------	----------------------	---	--------	----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者はいない
-----------	------------

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親
4. 主に祖父母	5. その他（ ）	

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 放課後など、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2. 緊急時のみ祖父母等の親族にみてもらえる 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4. 緊急時のみ子どもをみてもらえる友人・知人がいる 5. いずれもない	} ⇒問7-1へ ⇒問8へ
---	------------------------------

問7-1 問7で「1.」または「2.」、「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。←
 祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 問7で「1.」または「2.」を回答した 祖父母等の親族に預かってもらえる方	(2) 問7で「3.」または「4.」を回答した 友人・知人に預かってもらえる方
1. 祖父母等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の身体的負担が大きく心配である	2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 （ ）	6. その他 （ ）

問9-1 問9で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

母親、父親それぞれについて、1週当たりの「就労日数」及び1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」と「帰宅時刻」、「通勤所要時間」について、□内に数字をご記入ください。時間が一定でない場合はもっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をお答えください。

時刻は、必ず(例)08時00分~18時30分のように、**24時間制**でお答えください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】	(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】
(a) 平均就労日数、平均就労時間 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間	(a) 平均就労日数、平均就労時間 1週当たり □ 日 1日当たり □ □ 時間
(b) 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間 家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分頃 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分頃 通勤所要時間 約 □ □ □ 分	(b) 家を出る時刻と帰宅時刻、通勤所要時間 家を出る時刻 □ □ 時 □ □ 分頃 帰宅時刻 □ □ 時 □ □ 分頃 通勤所要時間 約 □ □ □ 分

問9の(1)または(2)で「3. 4.」(母親もしくは父親がパート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親
(a) フルタイム ^{※1} への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
(b) フルタイム ^{※1} への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
(c) パート・アルバイト等 ^{※2} の就労を続けることを希望する	3	3
(d) パート・アルバイト等 ^{※2} をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

※1 フルタイム：週5日程度・1日8時間程度の就労

※2 パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

⇒問12へ

問9の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問11 就労したいという希望はありますか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号もしくは記号1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳 になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが □ □ 歳 になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい 【希望する就労形態】 ←	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい 【希望する就労形態】 ←
ア. フルタイム※1	ア. フルタイム※1
イ. パートタイム、アルバイト等※2	イ. パートタイム、アルバイト等※2
就労日数 1週当たり □ 日 ←	就労日数 1週当たり □ 日 ←
就労時間 1日当たり □ □ 時間 ←	就労時間 1日当たり □ □ 時間 ←

※1 フルタイム：週5日程度・1日8時間程度の就労

※2 パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった ⇒ 問12-1へ	2. なかった ⇒ 問13へ
-----------------	----------------

問12-1 問12で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	□ □ 日	⇒ 問12-2へ
イ. 母親が休んだ	□ □ 日	
ウ. 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日	⇒ 問12-5へ
オ. 病児・病後児保育を利用した(病児保育室ぱんだなど)	□ □ 日	
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日	
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
ク. その他()	□ □ 日	

問 12-6 問 12-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他 ()

宛名のお子さんの不定期に利用する事業についてうかがいます。

問 13 宛名のお子さんについて、**私用、保護者の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業**はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)	
1. ファミリー・サポート・センター	□ □ 日	⇒問 14 へ
2. 認可外保育施設（託児所など）	□ □ 日	
3. ベビーシッター	□ □ 日	
4. その他 ()	□ □ 日	
5. 利用していない		⇒問 13-1 へ

問 13-1 問 13 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。 ←
 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用の方法がわからない（利用手続き・料金など）
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他 ()

問 14 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

事業の利用希望・希望する目的		日数(年間)
1. 利用したい		計 □ □ 日
ア.	私用（賞物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	□ □ 日
イ.	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	□ □ 日
ウ.	不定期の就労	□ □ 日
エ.	その他（ ）	□ □ 日
2. 利用する必要はない		

⇒問 14-1 へ

⇒問 15 へ

問 14-1 問 14 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 14 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 放課後児童クラブで子どもを保育する事業
2. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
3. その他（ ）

問 15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア. 親族・知人にみてもらった	□ □ 泊
	イ. 認可外保育施設（託児所など）、ベビーシッター等を利用した	□ □ 泊
	ウ. 仕方なく子どもを同行させた	□ □ 泊
	エ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 泊
	オ. その他（ ）	□ □ 泊
2. なかった		

⇒問 15-1 へ

⇒問 16 へ

問 15-1 問 15 で「1. あった ア. 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

問 16 宛名のお子さんを、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがある場合、「できれば短期入所施設生活援助事業（ショートステイ）などの事業を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. できれば短期入所生活援助事業（ショートステイ）などの事業を利用したい |
| 2. 利用したいとは思わない |

短期入所施設生活援助事業（ショートステイ）とは…

保護者の疾病、出産、看護、事故等により子どもの養育が一時的に困難になった場合、子どもを短期間、児童福祉施設等で預かる事業です。

放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんについて、現在利用している、していないにかかわらず、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、小学校高学年（4～6年生）になったら、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号 すべて に○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を □内に数字で **ご記入** ください。

なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も □内に数字で **ご記入** ください。時間は必ず（例）18時30分のように 24時間制 でご記入ください。

①小学校低学年のうち・・・ (1～3年生)		②小学校高学年になったら・・・ (4～6年生)		
過ごさせたい場所	頻度	過ごさせたい場所	頻度	
1. 自宅	週 □ 日くらい	1. 自宅	週 □ 日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい	2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 □ 日くらい	
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 □ 日くらい	3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 □ 日くらい	⇒問 20 へ
4. 児童館	週 □ 日くらい	4. 児童館	週 □ 日くらい	
5. 放課後子ども教室	週 □ 日くらい	5. 放課後子ども教室	週 □ 日くらい	
6. 放課後児童クラブ	週 □ 日くらい →下校時から □ □ 時 □ □ 分まで	6. 放課後児童クラブ	週 □ 日くらい →下校時から □ □ 時 □ □ 分まで	⇒問 18 へ
7. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい	7. ファミリー・サポート・センター	週 □ 日くらい	⇒問 20 へ
8. その他（公民館、公園など）	週 □ 日くらい	8. その他（公民館、公園など）	週 □ 日くらい	

放課後児童クラブ／放課後子ども教室とは…

■放課後児童クラブ

学童保育などとも呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない、おおむね10歳未満の子どもに対し、指導員のもとで適切な遊び及び生活の場を提供しています。

■放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取り組みです。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できるとされています。

問 17で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号・記号1つに○をつけてください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

また利用したい時間帯の具体的な数字を口内に、必ず(例)09時00分～18時30分のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 利用したい ----- ア. 低学年(1～3年生)の間は利用したい ----- イ. 高学年(4～6年生)になっても利用したい ----- 2. 利用する必要はない	}	→	利用したい時間帯 □ □ 時 □ □ 分から □ □ 時 □ □ 分まで
---	---	---	--

(2) 日曜日・祝日

1. 利用したい ----- ア. 低学年(1～3年生)の間は利用したい ----- イ. 高学年(4～6年生)になっても利用したい ----- 2. 利用する必要はない	}	→	利用したい時間帯 □ □ 時 □ □ 分から □ □ 時 □ □ 分まで
---	---	---	--

問 19 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休業中の放課後児童クラブの利用希望はありますか(事業の利用には、一定の利用料がかかります)。当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯の具体的な数字を口内に、必ず(例)09時00分～18時30分のように、24時間制でご記入ください。

1. 利用したい ----- ア. 低学年(1～3年生)の間は利用したい ----- イ. 高学年(4～6年生)になっても利用したい ----- 2. 利用する必要はない	}	→	利用したい時間帯 □ □ 時 □ □ 分から □ □ 時 □ □ 分まで
---	---	---	--

問20で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。該当しない方は、問21へお進みください。

問20-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親	
(a) 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1	⇒ 問20-3 へ
(b) 育児休業中に離職した	2	2	⇒ 問21 へ

問20-2で「(a) 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問20-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育園入園を希望し、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

	(1) 母親		(2) 父親	
	はい	いいえ	はい	いいえ
年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1	2	1	2

問20-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」として何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

	(1) 母親			(2) 父親				
① 実際の取得期間	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/> <input type="text"/>	ヶ月	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/> <input type="text"/>	ヶ月
② 希望の期間	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/> <input type="text"/>	ヶ月	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/> <input type="text"/>	ヶ月

問20-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字をご記入ください。

	(1) 母親			(2) 父親				
3歳まで取得できる制度があった場合の希望の期間	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/> <input type="text"/>	ヶ月	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/> <input type="text"/>	ヶ月

問20-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問20-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(1)(2)それぞれ、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①「希望」より早く復帰した方	(1) 母親	(2) 父親
(a) 希望する保育園に入るため	1	1
(b) 配偶者や家族の希望があったため	2	2
(c) 経済的な理由で早く復帰する必要があった	3	3
(d) 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
(e) その他	5	5

(e)その他を選択した方はその理由をご記入ください。

②「希望」より遅く復帰した方	(1) 母親	(2) 父親
(a) 希望する保育園に入れなかったため	1	1
(b) 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	2
(c) 配偶者や家族の希望があったため	3	3
(d) 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
(e) 子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
(f) その他	6	6

(f)その他を選択した方はその理由をご記入ください。

問20-2で「(a) 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問20-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親	
(a) 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1	1	⇒問21へ
(b) 利用した	2	2	
(c) 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3	3	⇒問20-8へ

問 20-7で「(c) 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にかがいます。

問 20-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

	(1) 母親	(2) 父親
(a) 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	1
(b) 仕事が忙しかった	2	2
(c) 短時間勤務にすると給与が減額される	3	3
(d) 短時間勤務にすると保育園の入園申込の優先順位が下がる	4	4
(e) 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
(f) 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6	6
(g) 子育てや家事に専念するため退職した	7	7
(h) 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8	8
(i) 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
(j) その他	10	10

(j) その他を選択した方はその理由をご記入ください。

すべての方にかがいます。

問 21 館林市における子育て環境について、どのように思いますか。
それぞれの当てはまる番号に○をつけてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
①子育て情報の発信 ・市のホームページの内容や問合せへの対応	1	2	3	4	5	6
②子育て仲間の交流支援 ・育児サークル等の活動周知や支援	1	2	3	4	5	6
③児童館等の居場所づくり ・子ども同士が交流する機会と場所の提供	1	2	3	4	5	6
④幼稚園の施設整備 ・快適な教育環境の整備	1	2	3	4	5	6
⑤保育園の施設整備 ・快適な保育環境の整備	1	2	3	4	5	6
⑥就学前の教育 ・小学校への就学を意識した教育の取り組み	1	2	3	4	5	6
⑦就学前の保育 ・小学校への就学を意識した保育の取り組み	1	2	3	4	5	6
⑧特別保育 ・延長保育、病児・病後児保育、保護者のニーズに合っているかなど	1	2	3	4	5	6
⑨放課後児童対策 ・放課後の児童を安心して預けることができる子育て環境の整備	1	2	3	4	5	6
⑩子どもの心とからだの相談体制 ・子どもの健康や発達に関する相談など	1	2	3	4	5	6

問 22 最後に、本市の子育て支援についてのご意見、ご提案をお書きください。（自由記入）

(1) 子育て環境について

(2) 家庭と就労の両立支援について

(3) 認定こども園（幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設）について

(4) 放課後児童対策（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）について

(5) その他

アンケートは以上です。
お手数ではございますが、同封の返信封筒に入れて、
切手を貼らずに、封をして投函してください。

投函期限：平成 26 年 1 月 20 日（月）まで

ご協力ありがとうございました。



ぽんちゃん